

まちの話題



7月5日(火)

一球入魂の夏!

夏休み期間中に開催される、全日本卓球選手権、中部日本卓球選手権大会に出場する皆さんが、市長のもとへ報告に訪れました。12人のうち全日本大会に出場する二人は、「きちんと打てるように頑張りたい」(都築佑賀さん)、「ベスト8に入りたい」(鈴木慎司くん)と大会での健闘を誓いました。

大会出場者(敬称略) 都築佑賀、鈴木慎司、西島章朗、酒井彩名、山中脩豊、葛島良介、小笠原浩輝、大岩咲帆、大岩咲里、神谷瑠衣、加藤正治、松崎竜我



7月7日(木)

地域で活躍して元気な生活を

園の子どもたちが使うお手玉を作っているのは、高浜南部保育園の近所に住んでいる二池いきいきクラブの皆さん。地域でのボランティアや健康づくり活動をポイントに交換し、元気な65歳以上を応援する「高浜市いきいき健康マイレージ」に登録されています。

この日は南部保育園から依頼のあったお手玉づくりなど針仕事のボランティアを行いました。

松井美千子園長は、「小さい子に合わせて、たくさん作っていただけてありがたかった。園に来て、作業やおしゃべりをしながら元気になっていただければ。」と話してくださり、いきいきクラブの方も「みんなで楽しく、喜んでもらったことが嬉しい。」とやりがいを感じているようでした。

※高浜市いきいき健康マイレージ制度については、社会福祉協議会(☎52-2002)へお問い合わせください。

鉄道一筋40年 春の褒章受章

杉浦 正臣さん(呉竹町)

40年以上にわたり鉄道業務に従事された杉浦正臣さんが、平成23年春の褒章で瑞宝単光章を受章されました。受章の喜びなど、お話を伺いましたので紹介します。

受章の感想

立派な章をもらい、驚いています。今後は章に相応しい行動ができるように気をつけたいと思います。

仕事について

41年6ヶ月会社に勤めましたが、車掌として運転現場に長く務めましたので、やはり事故の怖さが強く印象に残っています。また、中盤は後輩の指導にあたり、人を教えることの難しさというものも学びました。

特定のできごとに喜びを感じるというよりも、大きな事故など、何もなかったことを大変嬉しく思います。

今後の生活

地域で手伝うことがあればお手伝いし、地域のための活動をしていきたいと思っています

